



目的

スマートデバイスを利用したファンサービス企画を楽天Koboスタジアム宮城で実施することに。ファンがスマートデバイスで様々なコンテンツをストレスなく見られるよう、球場内にWi-Fiネットワークインフラを構築することにした。

ソリューション

楽天Koboスタジアム宮城の有線でのネットワーク環境構築に実績があり、球場のことをよく把握しているMKIに依頼。シスコ社の「スタジアムWi-Fiソリューション」を、シーズン中の限られた作業時間のなかで約3ヶ月というスピードで構築。

効果

Wi-Fiネットワークインフラ「Eagles-Wifi」を活用したコンテンツ配信サービス「At Eagles」を2014年9月8日から開始。他球場の試合経過情報やプレゼントキャンペーンなど、今まで以上に来場したファンを楽しませるサービスを提供している。



名称 株式会社楽天野球団
 所在地 宮城県仙台市宮城野区宮城野2-11-6
 事業内容 プロ野球チーム「東北楽天ゴールデンイーグルス」の運営、ほか関連事業
<http://www.rakuteneagles.jp/>



©Rakuten Eagles

球場に足を運んでくれたファンにもっと野球を楽しめるサービス提供を。そのインフラとなるスタジアムWi-Fiを屋外球場で初めて構築したMKI。

東北唯一のプロ野球チーム・東北楽天ゴールデンイーグルスを運営する株式会社楽天野球団は、球場へ試合を見に来たファンに様々なファンサービスを企画して、ここ数年着実に観客動員数を伸ばしてきました。そして、さらに多くのファンに球場へ足を運んでもらうサービスとして、スマートデバイスと連動した企画を立案。これを実現するためのWi-Fiネットワークインフラ「Eagles-Wifi」構築を行ったのが三井情報株式会社です。1試合平均20,000人超が来場する楽天Koboスタジアム宮城で、来場したファンがWi-Fiに接続しストレスなくファンサービスコンテンツを楽しめる環境を提供するために、工期のスピードと専門技術で大いに貢献しました。

球場でもっと野球を楽しむためにWi-Fi経由でサービス提供を計画

2005年の球団創設以来、東北楽天ゴールデンイーグルスは、ホーム球場の「楽天Koboスタジアム宮城（以下、コボスタ宮城）」で様々なファンサービスを実施してきました。その結果、地元を中心にファンが増

え、コボスタ宮城の来場者数も着実に増加。そして、2014年のレギュラーシーズンの観客動員数は、創設以来で最高となる1,450,233人を記録しました。

観客動員数をより増やすため、運営会社の株式会社楽天野球団（以下、楽天野球団）では、何度も来場しているファンはもちろん、これまで球場に足を運んだことがないファンにも来てもらえるよう、様々なファンサービスを次々と企画しており、そのひとつにスマートフォンやタブレットなどのスマートデバイスを利用したサービスの企画がありました。そして、このサービスを実現するため、球場内に高速Wi-Fiネットワークインフラを構築することを決定。楽天野球団がコボスタ宮城に導入を決めたWi-Fiソリューションは、欧米で導入が進んでいるシスコ社のスタジアムWi-Fiソリューションでした。



楽天Koboスタジアム宮城

無料でWi-fiつかえます



Eagles-Wifi



At Eagles

アプリロゴと画面イメージ



株式会社楽天野球団 東北楽天ゴールデンイーグルス
 スタジアム部 部長 川田 喜則氏

導入するソリューションも 導入場所も熟知したパートナー

スタジアムWi-Fiをコボスタ宮城に適した設計、構築を行ったのが三井情報株式会社(以下、MKI)です。シスコ社のソリューションを熟知していたこと、そして様々な公衆WiFiプロジェクトの実績があることが、MKIをパートナーにした理由のひとつ。加えて、MKIを選ぶもうひとつの決め手があったと、楽天野球団スタジアム部部長の川田喜則氏は語ります。

「これまでコボスタ宮城の有線LANシステムの運用をMKIに依頼しており、当社との信頼が築かれていて、球場内を初期の頃からよく知っていたことから、短期での構築が期待できました」

3ヶ月というスピード工期で より良い仕上がりを追求

コボスタ宮城の収容能力は約28,000人ですが、満員の観客全員がWi-Fiネットワークにアクセスして、コンテンツをスムーズに見るには、高密度でのアクセスポイン

トの設置が必要となります。球場などの混雑した環境では電波干渉の原因となるものが多くあります。また、高速接続を維持するためには、ひとつのアクセスポイントでカバーできる範囲は狭く、数多くのアクセスポイントを球場内に設置する必要があります。

しかし、電波の面で最適な場所が、球場内では観戦の邪魔になることもあり、現場で楽天野球団とMKIとで何度もアクセスポイントの設置位置やケーブルの配線などについて話し合い、どちらも納得できる箇所を探ってMKIが工事を進めていきました。場内に設置したアクセスポイントの数は250箇所以上、このインフラ構築はレギュラーシーズンで頻繁に試合が行われる中、6～8月の3ヶ月という短期間で完了しました。

工事の仕上げの工程にもこだわりが感じられたと川田氏は語ります。

「工事が一通り終了して確認する際、MKIの担当者がチェックを重ね、現場的に確に指示していました。短い工期ながらも高いクオリティで仕上げる姿勢を見て、うれしくなりましたね」

メジャーリーグの観戦スタイルを コボスタ宮城で楽しめるように

国内では初めて屋外球場に導入されたスタジアムWi-Fiソリューション「Eagles-Wifi」は、2014年9月8日に運用を開始しました。ネットワークに「At Eagles」という専用サイトを開設し、2014年のシーズンはパ・リーグTVの無料視聴や各種クーポン獲得サービスを提供、翌シーズンはさらにAt Eaglesでしか見られないムービーや試合と連動したゲームコンテンツなどの配信を予定しています。将来的には、メジャーリーグのスタジアムで行われている決済システムの導入、すなわち球場内での飲食物やグッズの購入から決済までAt Eaglesで完結させることも計画中です。

高密度にアクセスポイントを設置し、アクセスが集中しても快適につながる環境は、実際にEagles-Wifiを利用したファンの「快適で速い」の喜びの声に現れています。スマートデバイスとともに楽しむ観戦スタイルを楽天野球団とMKIがコボスタ宮城で実現しました。

図1 アプリの機能一覧

ビデオ リプレイ	ハイライトシーンや ライブストリーミング
試合情報	スコアや選手情報
飲食 グッズ販売	売店の混雑状況や グッズのオンライン販売
球場案内	球場の案内や周辺情報 (交通情報など)の提供
ゲームアプリ	ファンをより楽しませる 仕組みづくりの提供

図2 標準的なWi-Fiソリューションとの違い



※記載されている会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。※記載された内容は変更する場合がございますのでご了承ください。

【お問い合わせ先】



流通・不動産・産業営業本部 産業営業部
〒105-6215 東京都港区愛宕2-5-1 愛宕グリーンヒルズMORIタワー
TEL: 03-6376-1268 FAX: 03-3435-0525 E-mail: sales@ml.mki.co.jp
製品サービスサイト: http://www.mki.co.jp/biz/solution/it_platform/wireless_lan/index.html#stadium
コーポレートサイト: <http://www.mki.co.jp/>